



成果指標				
成果指標	設定しない			
指標設定の考え方	成果として表れる事業予算ではなく、他の事業を円滑に進めるために必要な義務的な予算であり、当該事業のみで求める成果は設定することができないため。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目 標	0	0	0	0
実 績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	5	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	特筆すべき事項はありません。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	5	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	中山・双海地域事務所の各高齢者福祉事業事務に伴う一般事務費であり、事務の効率化を図り、引き続き経費節減を図る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	一般事務経費であり、次年度から評価対象外事業とするよう検討のこと。

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。